

地方公共団体	岡山県真庭市
所在地	岡山県真庭市久世2927-2
地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿	市内外の多様な主体と積極的に連携・協力し、地域資源により適切な規模の循環の形成を行い、【多彩な地域を、「モノ・カネ」が循環し、安全安心な生活ができる「まち」】を目指します。
地域の現状・課題	森林、草原、中山間、歴史的町並み、林業・バイオマス産業、UIターン者など多様な資源があるが、市域が広域（東京都23区の1.3倍）で、有機的な連携・活用が課題（EDIT MANIWAの推進）
地域が持つ資源	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャージー酪農が支える蒜山の草原景観 ・隈研吾氏設計のCLTオブジェを蒜山高原に移設 ・北房のホタルや勝山の歴史的町並み ・真庭なりわい塾、起農スクールなどを通じたUIターン者などの多彩な人材
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○市内全域における地域循環共生圏づくりプラットフォームの構築 ○バイオマスの多様な活用事業 里山を活かし経済循環と環境保全の推進を図る地域循環共生圏の構築 ○里山・里海連携事業 海とつながり交流・補完させ、新ブランド推進と人とコトの交流推進による地域循環共生圏の構築
地域循環共生圏を 実践することで想定 される効果	<p>(環境)美しい里山環境の再生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旭川を中心とした豊かな環境の保全、美しい里山景観が保たれている。 ・生物多様性保全活動が生活に根付き、生態系豊かな地域になる。 <p>(経済)人と資源の交流・連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民と下流域、海域住民が交流により双方の環境保全活動に共に取り組んでいる。 ・海域資源を里山に循環させることで新たなブランドを構築し、経済面においても流域連携が推進されている。 <p>(社会)連携・実施できる人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーとなる団体、人が育ち、①と②の取り組みを進めている。 ・知の資源を蓄える学習機会に恵まれ、子どもたちや大人が地域の文化や伝統、生き物に親しみを持っている。



里海米



生き物調査



バイオマス発電所



散走サイクリング（発酵蔵）